

## **国際観光学科 1年 前期 専門基礎科目／専門科目**

1. 観光実務英語
2. 観光概論
3. 観光マーケティング論
4. インバウンド概論
5. 旅行事業経営論
6. 旅行企画論
7. ニューツーリズム概論
8. 観光ICT概論
9. 海外インターン実習事前指導

国際観光学科  
International Tourism

18-Jan-21

科目名: 観光実務英語 Course: Practical English in Tourism			担当教員 氏名: Victor Raquid Vibal Faculty Name			
単 位 Credits	開講時期(年次・期) Term(Year/Semester)		科目の区分 Course Category	授業方法 Teaching Method	(卒業要件) Graduation Requirement 必修/選択 Required/Elective	備考 Notes
1	1年次 First-Year	前期 First Semester	専門基礎科目 Specialized Fundamental Course	演習 Seminar	必修 Required	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: What kind of class is conducted using your practical experience?			Lectures, Creative Presentations with interactive demonstrations, Role Playing, Analytical discussions, Technology Applications and Evaluation			
授業科目の学習教育目標の概要: Educational Aims and Goals of the Course:					キーワード Keywords	
To develop English communication skills, in particular, necessary for the tourism industry by focusing on four areas of English skills, such as, listening, speaking, reading, and writing. With the acquirement of these four skills as well as the learning of the technical terms of the tourism industry, students will be able to carry out the operations at tourist sites like airports, hotels, restaurants. These practical English also helps them to handle the claims as well. They also acquire skills in guiding skills on people's lives, history and culture of tourism resources.					Work Terminologies in Tourism	
授業における学修の到達目標: Achievement Goals of Learning in the Course: To have the basic skills needed to build upon to accomplish whatever task or job is assigned. And to be a good citizen that will contribute to a better society.						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A Knowledge and Understanding			Student can understand the knowledge of English and connect the learned knowledge.			
H Communication Skills			Student can deepen their understanding and communicate with others using language and body movements.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: test:	40 %	レポート: %	発表: 50 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項:						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 Project based Learning	ディスカッション、ディベート Discussion, Debate	グループワーク Group work	プレゼンテーション Presentation	実習、フィールドワーク Practical Test		
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: Role play with assessment (unit 5); Scheduled Presentations with assessment (unit 9 & 15) Timing of tests, reports, presentations, practical tests, etc.:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: Written feedbacks and personal consultations How to give feedback on assignments (tests, reports, etc.):						
授 業 計 画 Course Schedules				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① Introduction to Leisure, Business Travel; Goal Setting				Goal setting	1 hour	
② Jobs and People				People in the work place	1 hour	
③ Getting on the plane				Check-in; Boarding procedures	1 hour	
④ At the Immigration and Customs				Visas and Customs Procedures	1 hour	
⑤ At the Airport				Facilities, Outlets with roleplay with assessment	1 hour	
⑥ Hotel (Accommodations)				Front desk check-in; terminologies	1 hour	
⑦ Restaurant ( Breakfast, Fast Food)				Order menu; Types of Meals	1 hour	
⑧ Sightseeing				Tour Terminologies;	1 hour	
⑨ Shopping				Role play with assessment	1 hour	
⑩ transportation				Air, Land, Sea	1 hour	
⑪ Problems and Complains				Handling complains	1 hour	
⑫ Bullet Train tickets				Train systems	1 hour	
⑬ Taking a Taxi				Giving directions	1 hour	
⑭ Sightseeing (City Tours in Tokyo)				Seat in coach tours, private tours	1 hour	
⑮ Sightseeing tours Presentation (Final)				final presentation with assessment	1 hour	
使用テキスト(Textbook): CD付 ベーシック観光英語 (English for Tourism -Basic-) 観光英検センター 編著、三修社、ISBN978-4-384-33437-1 C1082				その他参考文献など: Reference Books:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ) Notice for Students: Students will become familiar with basic terminologies and expressions used in the field of tourism. This course emphasizes competency in speaking and writing, and the teacher expects the students to participate in the class with positive attitudes.						

## 国際観光学科

科目名： 観光概論			担当教員 氏名： 米田 晶			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次 前期	専門基礎科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのよ：日本国内及び海外での観光産業や観光開発における実務経験を活かして、学術的視点と実務的視点を盛 うな授業を行っているか：り込みながら観光概論について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
観光を学ぶ意味を理解し、観光が人間、企業、地域、社会、国際経済にもたらす効果を知る。観光産業のしくみを学ぶと共に、旅行業、宿泊産業、交通運輸業、テーマパーク等の各産業のビジネスモデルを理解する。また観光資源や観光対象、観光行動と情報、観光政策と観光行政の基礎、観光マーケティングの対象と、観光消費の対象となる商品、観光統計学の基礎、さらに、観光の歴史と今後の特に国際観光(アウトバウンド、インバウンド)についてその基本を学ぶ。					観光、交通、旅行業、地域社会、経済、情報、インバウンド、効果と影響	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、6	
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 40 %	レポート： 30 %	発表： 20 %	実技試験： %	その他： 10 %		
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 最終試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 試験を行い、採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な 時間(分)		
①観光とは			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
②観光の世界史			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
③観光の日本史			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
④観光行動と観光者の心理			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑤観光と交通			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑥観光と宿泊			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑦観光と旅行業			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑧観光と情報			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑨観光と環境			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑩観光と地域社会			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑪観光と経済			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑫観光の効果と影響			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑬観光における開発と保護			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑭インバウンド観光がもたらす国際社会への影響と効果			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
⑮まとめ			【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト：特になし。 資料を配布します。			その他参考文献など：			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 観光学の基礎となる科目です。毎回しっかり復習し、今後の講義に活かしてください。						

## 国際観光学科

科目名: 観光マーケティング論				担当教員 氏名: 米田 晶、Victor Raquid Vibal		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次 前期	専門基礎科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか: 国内及び海外での観光産業や観光開発における実務経験を活かして、学術的視点と実務的視点を盛り込 みながら観光マーケティング論について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
マーケティングの意味や目的、手法を学ぶ。顧客のニーズ・ウオント・需要の違いを理解し、購買意思決定プロセス、セグメンテーション、SWOT分析、さらに観光地のライフサイクルについて学ぶ。また旅行商品の流通チャネル、価格戦略、ブランド構築のプロセス、カスタマーリレーションシップ・マネジメント、データベース・マーケティングについて学ぶ。このような理論をベースとして、旅行会社、航空会社、ホテル、観光PRのそれぞれの現場で実際に行われているビジネス上のケーススタディについても学ぶ。					マーケティング、ニーズ・ウオント、 価格戦略、ブランド戦略、ポジショニング、 データベース、顧客満足	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号) 1、2、3、4、5、6			
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、 <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 最終試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験を行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①ガイダンス(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
②マーケティングとは何か?(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
③ニーズとウオント:人はなぜものを買うのか?(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
④STP:お客様は誰だろう?(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】122分	
⑤商品購入のプロセスを探れ!(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑥旅行商品の流通について(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑦商品の価格を策定する(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑧Survival English:(Victor Raquid Vibal、米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑨PPMと製品ライフサイクル(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑩プロモーション・ミックスについて(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑪ブランド構築とプロセスを理解しよう!(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑫CRM戦略と観光関連産業(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑬Survival English:(Victor Raquid Vibal、米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑭マーケティングリサーチ(演習)(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
⑮持続的な発展とマーケティングのあり方(まとめ)(米田)				【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト:使用テキスト:「データマーカー養成講座 初級編」第1版 一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

国際観光学科						
科目名: インバウンド概論			担当教員 氏名: 安田 亘宏			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 旅行会社社員としての実務経験を活かして、インバウンドおよび観光まちづくりについて教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
インバウンド、すなわち訪日外国人旅行は日本のツーリズム産業を発展させ、変革させる大きな潮流となるのみならず、地域を元気にする地域創生の起爆剤になる。インバウンドに関する基礎知識や、実践的なスキルを学び、世界の様々な国から多くの訪日外国人旅行者を迎え、安全で快適な、また思い出に残る日本の旅を楽しんでもらい、日本のファンになり、再訪してくれるよう、それぞれの国ごとに、的確なサービスを提供することが必要になる。インバウンドビジネスの現況、地域別マーケットの特性を知り、インバウンドの実務ができる人材、市場から高い消費額を創出できる人材を育てる。					インバウンド、地域創生、交流人口 観光まちづくり、ニューツーリズム	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		2. 6. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	インバウンド業務の知識を体系的に理解する。					
B 専門的技術	インバウンドの専門的技術を、社会貢献、自己実現に活用できる。					
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。					
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析、解決の方向性をたてることができる。					
F チームワーク・リーダーシップ	地域創生のために他者と強調・協働して行動したり、リーダーシップを発揮できる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト/課題: 60 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 40 %		
特記事項: 学期末課題の成績(60%)、その他(授業参加度・コメント票等)(40%)により総合的に評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末課題を実施。毎回コメント票、適宜小テストを実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①講義全般説明 —インバウンド概説				【予習】インバウンドを調べる 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
②インバウンド総論1 —インバウンドの現状・訪日外国人旅行者数・国地域別現状				【予習】教科書第1課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
③インバウンド総論2 —インバウンドの歴史・政策・業務				【予習】教科書第2課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
④インバウンドの現状と動向 —デスティネーション・旅行動向・期待活動・ビザ・課題				【予習】教科書第3課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑤インバウンドと消費 —インバウンドの消費動向・買物動向・飲食動向・決済・免税制度				【予習】教科書第4課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑥インバウンドとビジネス—ツーリズム— —旅行業・宿泊業・鉄道交通・航空交通・道路交通				【予習】教科書第5課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑦インバウンドとビジネス—関連ビジネス— —観光土産・ショッピング・飲食・施設・シェアリングエコノミー				【予習】教科書第5課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑧インバウンドとニューツーリズム —エコ・グリーン・産業・ヘルス・フード・コンテンツツーリズム				【予習】教科書第6課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑨訪日外国人旅行者の理解 —中国・韓国・台湾・香港・タイ・米国・ムスリム・ベジタリアン				【予習】教科書第7課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑩訪日外国人旅行者への対応 —多言語・通信環境・ユニバーサル・安全対策・人材・情報				【予習】教科書第8課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑪インバウンドの集客 —ネット・旅行博・ファミトリップ・ガイドブック・ホームページ				【予習】教科書第9課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑫インバウンドと観光まちづくり —リゾート・祭り・商店街・城・温泉・世界遺産				【予習】教科書第10課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑬アフターコロナとインバウンド —コロナ禍の現状・外国人旅行者意向・対応策・キーワード				【予習】教科書第12課題を読む 【復習】富山の観光まちづくり調査	240分	
⑭インバウンドと富山 —富山の観光まちづくり、富山インバウンドの現状と課題				【予習】富山の観光資源調査 【復習】重要事項の整理とまとめ	240分	
⑮まとめ —全体まとめ・期末課題				【予習】全体を復習する	240分	
使用テキスト: 安田亘宏著『インバウンド実務主任者認定試験公式テキスト』全日本情報学習振興協会(2017) ISBN978-4-8030-1113-5				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストとパワーポイントを使って分かりやすく解説します。予習、復習をしっかり継続することが求められます。						

## 国際観光学科

科目名: 旅行事業経営論			担当教員 氏名: 米田 晶			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 旅行業勤務の実務経験を活かし、具体的エピソードを交え理解を深めさせたい。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
この30年間で、航空運賃も旅行代金も極端に下がり、デフレ・スパイラルに陥った旅行業の、生き残りをかけた経営戦略を紹介すると共に、業界の今後を学生とともに考える。事業経営ならびに商品に関して、競合他社との最大の差別化はいかに顧客満足、顧客の感動を創出できるかであり、そのためには顧客の「真実の要求」がどこにあるかを的確に見抜き、瑕疵についてはすぐに改善を図る必要があることを、過去に実際に起こった事例研究も含めて理解する。サービス産業におけるイノベーションはモノのイノベーションのように目立つものは少ないが、生産性向上や顧客満足への醸成に大きく作用することが多く、イノベーションこそが企業の成長に欠かせないことを知り、それを実現できうる思考力と創造力を養う。						旅行事業、観光産業、旅行商品、サービスマーケティング、バリューチェーン、顧客満足、経営戦略、生産性向上、イノベーション、インバウンド、MICE、着地型観光、地域振興、地域ブランディング、消費者行動、リスク・マネジメント
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力			1. 2. 5. 7. 10. 知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 40 %		発表: 0 %		実技試験: 0 %
その他: 10 %						
特記事項: ・上記「その他」は講義およびグループワークへの積極的な参加・発表、「レポート」は毎回提出してもらう復習レポートで評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回、レポートを提出してもらう。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価をつけて返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①旅行と観光の定義、旅の歴史について理解する				【復習】古代、近世、現代の旅についてまとめる	【復習】240分	
②旅行業の成り立ちと旅行業法について理解する <前回講義の復習>				【復習】旅行業の登録種別の違いについてまとめる	【復習】240分	
③旅行契業法の変遷と旅行業の登録形態について理解する <前回講義の復習>				【復習】旅行契約形態の違いについてまとめる	【復習】240分	
④旅行商品の契約形態とバリューチェーンについて理解する <前回講義の復習>				【復習】観光事業の特性についてまとめる	【復習】240分	
⑤OTA旅行業のイノベーションについて理解する <前回講義の復習>				【復習】旅行形態の変化についてまとめる	【復習】240分	
⑥観光・旅行業の顧客満足について理解する <前回講義の復習>				【復習】LCCとレガシーキャリアの違いについてまとめる	【復習】240分	
⑦観光・旅行業の事業特性について理解する <前回講義の復習>				【復習】OTAの取扱商品の特性についてまとめる	【復習】240分	
⑧旅行市場の成熟化について理解する <前回講義の復習>				【復習】MICEについて具体例をあげて説明する	【復習】240分	
⑨国際旅行(インバウンド・ツーリズム)について理解する <前回講義の復習>				【復習】インバウンド拡大に際しての課題についてまとめる	【復習】240分	
⑩旅行会社のグローバル展開について理解する <前回講義の復習>				【復習】エイチ・アイ・エスのグローバル展開についてまとめる	【復習】240分	
⑪着地型観光を手段とする地域振興について理解する <前回講義の復習>				【復習】デスティネーション・マーケティングの枠組みについてまとめる	【復習】240分	
⑫「食」を活かした地域ブランディングについて理解する <前回講義の復習>				【復習】富山の「食」を活かした地域ブランディングについてまとめる	【復習】240分	
⑬消費者行動から見た旅行商品選択について理解する <前回講義の復習>				【復習】消費者の旅行商品選択に影響を及ぼす要素についてまとめる	【復習】240分	
⑭これからの観光・旅行業の役割と存在意義について考える <前回講義の復習>				【復習】みなさんが観光・旅行業に求める役割についてまとめる	【復習】240分	
⑮まとめ <①～⑭の復習>				【予習】これまでの配布資料を復習	【予習】240分	
使用テキスト: テキストはありません。授業時にレジュメを配布します。				その他参考文献など: 旅行産業論(日本交通公社)978-4-866-31338-2 1からの観光(椋碩学舎)978-4-502-67410-5		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 旅行事業経営論は今後学習する科目の基礎となります。毎回レポートをまとめながらしっかり学習してください。						

## 国際観光学科

科目名： 旅行企画論			担当教員 氏名： 藤本 幸男		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよ：30年間に及ぶ旅行業における商品企画の体験の中から、象徴的ないくつかのエピソードを中心に うな授業を行っているか：「ヒット商品の作り方」を学ばせたい。					
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード
マーケティングの基本的な理論と旅行商品の特性を踏まえて、旅行商品企画(造成)のしくみと商品企画の方法・手順を理解する。旅行企画という、企画者の発想やアイデアが重要と考えがちだが、実際の商品企画は、これまでの商品に対する評価分析やデータを駆使し、現地の情報と、アイデア、仕入れ量、コスト計算などを組み合わせながら、事業性、継続性を意識する中で行っていく事を学ぶ。具体的な事例として、若者の海外離れをテーマにした「学生をいかにハワイへ向かわせるか」につき研究する。					「売れる・売れない」、同質競争、事業性、継続性
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		1、2、3、6			
A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： 50 %	レポート： %	発表： 50 %	実技試験： %	その他： %	
特記事項：					
アクティブラーニング要素：					
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：適宜小テストを実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：小テストの結果を丁寧にフィードバック。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①商品企画とは？			復習	120分	
②「ヒット商品の作り方」			予習・復習：配布資料	240分	
③新しい価値の創造、その例(1)			予習・復習：配布資料	240分	
④新しい価値の創造、その例(2)			予習・復習：配布資料	240分	
⑤小テストとフィードバック			予習・復習：配布資料	240分	
⑥商品力の強化とデフレスパイラル			予習・復習：配布資料	240分	
⑦商品力の強化例、その(1)			予習・復習：配布資料	240分	
⑧商品力の強化例、その(2)			予習・復習：配布資料	240分	
⑨商品力の強化例、その(3)			予習・復習：配布資料	240分	
⑩小テストとフィードバック			予習・復習：配布資料	240分	
⑪「なぜ商品が売れない？」その例と解決法(1)			予習・復習：配布資料	240分	
⑫「なぜ商品が売れない？」その例と解決法(2)			予習・復習：配布資料	240分	
⑬「なぜ商品が売れない？」その例と解決法(3)			予習・復習：配布資料	240分	
⑭小テストとフィードバック			予習・復習：配布資料	240分	
⑮ふりかえりとまとめ			予習・復習：配布資料	240分	
使用テキスト： なし			その他参考文献など：「旅行商品企画の理論と実際-プロが教えるパッケージツアーの作り方」同友館 藤本幸男		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：商品はだれのためにあるのか？この答えを見つけるヒントを解説します。					

国際観光学科					
科目名: ニューツーリズム概論				担当教員 氏名: 米田 晶、鷹西 恒、山田 拓	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよ 各教員のインバウンドビジネスでの具体的かつ実践的な経験 うな授業を行うのか: (斎藤:ウズベキスタン、米田:フード、山田:岐阜古川での美ら地球経営)を用いる					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
ニューツーリズムとは、テーマ性が高く、体験的要素を取り入れたり、地域との交流がなされる、地域固有の観光資源を活用したツーリズムである。欧米豪市場を対象としたインバウンドは、滞在の長期化や地域散開傾向にあり、地域創生に極めて有効である。2年次に専門特化し学んでゆく「アドベンチャー・ツーリズム」、「ユニバーサル・ツーリズム」、「食のツーリズム」の基礎を学ぶ。					ニューツーリズム、アドベンチャー・ツーリズム、ユニバーサル・ツーリズム、食のツーリズム
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、5、6	
A 知識・理解力	ニューツーリズムを体系的に理解するとともに、インバウンド市場における位置づけを理解できる。				
C 論理的思考力	それぞれのツーリズムの情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報の整理ができる。				
G 倫理観	観光商品や観光サービスの成り立ちを知ることにより、社会の規範やルールに従って行動できる。				
H コミュニケーション力	語学力を使って、他者との理解を深めることができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 15 %	発表: 15 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: 山田先生の集中講義日程に留意されたい。 その結果、次の日時は、授業がないので併せ留意されたい。6月26日、7月10日、7月17日					
アップデートトレーニング授業: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストは授業終了後であるが、オムニバスターマ終了ごとに小テストを行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点の結果をフィードバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【米田】インバウンドにおけるニューツーリズムの位置づけと現状を理解する			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
②【鷹西】ユニバーサルツーリズムとは何か			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
③【鷹西】バリアフリーとユニバーサルデザイン			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
④【鷹西】誰もが安心して旅を楽しむために必要な環境とは(グループワーク)			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑤【鷹西】自ら好んでする旅と障がいの関係性～ゲストスピーカーに学ぶ～			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑥【鷹西】ユニバーサルツーリズムへの期待と展望(まとめ)			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑦【米田】フードツーリズムとは何か			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑧【米田】フードツーリズムによる地域のブランディング			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑨【米田】フードツーリズムとインバウンド			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑩【山田】6月11日3限 アドベンチャーツーリズムとは何か			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑪【山田】6月11日4限 地域らしさを売るということ			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑫【山田】6月12日2限 なぜアドベンチャーツーリズムなのか			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑬【山田】6月12日3限 インバウンドとアドベンチャーツーリズム、その展望			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑭【山田】アドベンチャーツーリズムまとめ			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
⑮【米田】着地型観光とフードツーリズム、2年次選択に向けての説明			【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト: 特になし。			その他参考文献など: FT: UNESCO Creative Cities Network UT: 観光庁HP「ユニバーサルツーリズムについて」 ユニバーサルツーリズムに対応した観光案内の実践 方策(観光庁) AT: Adventure Tourism: Development Index ATDI 2020 Affiliate Members Global Report, Volume 9 Global Report on Adventure Tourism		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): インバウンドビジネス、その中でもニューツーリズムを学ぶにあたっての入門の授業である。2年次に選択必修となるそれぞれの分野をオムニバス形式で担当教員から解説する重要な授業である。					

## 国際観光学科

科目名: 観光ICT概論			担当教員 氏名: 松本 三千人		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	
2	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
近年はコンピュータの発達により、ビッグデータの活用に注目が集まっている。観光業界においても、社内外のデータ量には膨大なものがあり、その分析結果を適切に解釈し、事業経営や顧客満足に活用するためにはデータ分析の知識がますます必要とされる。この授業では各種ツールを使って、データの相関分析や、回帰分析の基礎的な手順、手法を学び、それぞれの持つ特徴を理解し、その活用法を学習する。またこの授業は2年次の「観光ICT事例研究」、「観光ICT開発実務実習」へとステップアップしてゆく。				ビッグデータ、データ分析、エクセル 相関分析、回帰分析	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、6、8、9	
A 知識・理解力	データ分析の知識を体系的に理解する。				
B 専門的技術	各種ツールの基本的な使い方、発展的使い方を身につける。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析、解決の方向性をたてることができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項: ・上記「その他」では、授業の態度、授業中の課題演習の達成状況等で評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中に課題演習を行う。また、授業期間の中間と最後に確認試験を実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。授業期間の中間と最後に実施する確認テストについては採点結果を伝える。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: 本授業の目標及びExcelの基本操作を学ぶ			・データの処理に必要なExcelの基本操作	240分	
②ビッグデータについて学ぶ			・ビッグデータとは ・ビッグデータの利用・背景・活	240分	
③データの抽出と集計について学ぶ(1)			・データの並べ替え ・関数によるデータの抽出・集計	240分	
④データの抽出と集計について学ぶ(2)			・オートフィルターによるデータ抽出 ・ピボットテーブルによるクロス集計	240分	
⑤データの視覚化について学ぶ			・各種グラフ(棒グラフ、レーダーチャート、散布図、ヒストグラム)	240分	
⑥データの特徴について学ぶ			・データの分布・ヒストグラム、分散・標準偏差等、基本統計量	240分	
⑦中間確認テスト			・データ抽出・集計、グラフ作成等の確認	240分	
⑧量的データ、質的データの関連性について学ぶ(相関分析・クロス分析)(1)			・量的データの関連性を見る(散布図からの相関係数の抽出)	240分	
⑨量的データ、質的データの関連性について学ぶ(相関分析・クロス分析)(2)			・質的データの関連性を見る(クロス表の視覚化、期待度の計)	240分	
⑩データの回帰分析と予測について学ぶ			・回帰分析、回帰式を用いた予測、分析ツールを用いた回帰分	240分	
⑪実データを用いた演習(1)			・RESASの使い方、データの見方の視点等	240分	
⑫実データを用いた演習(2)			・ID-POSデータを用い、Excel操作による各種グラフ作成	240分	
⑬実データを用いた演習(3)			・ID-POSデータを用い、Dolphin Eyeツールによる資料作成	240分	
⑭実データを用いた演習(4)			・Dolphin Eyeからダウンロードしたデータで相関係数を出し、相関	240分	
⑮最終振り返り			・授業全体で身に着けた知識・スキルの確認	240分	
使用テキスト: テキストは使用せず、ワークに必要なデータを提供する。			その他参考文献など: 「Excelで学ぶ統計・データ解析入門」(ISBN978-4-621-08297-3)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Excelの複雑な操作が求められるので予習・復習をしっかりと実施する事。					

国際観光学科					
科目名: 海外インターン実習事前指導				担当教員 氏名: 藤本 幸男、米田 晶、齋藤 望、Victor Raquid Vibal	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよ 過去の海外インターン派遣経験や、オーストラリア現地企業の実態を踏まえたうえで、 うな授業を行っているか: 学生の成長に最も効果的な授業を行う。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
オーストラリアでのインターン実習の事前準備を行う。具体的には、多民族・移民国家オーストラリアの歴史・文化や観光先進国オーストラリアのインバウンド戦略を学ぶ、訪豪日本人観光客の現況を学ぶ、実習先の業務内容を事前に把握する、現地での指導社員体制、評価基準のほか生活、相談窓口等について知る(現地社員による)、自らがインターン実習の目標を考え、それぞれの指導教員と協議する中で最終目標を設定する(実習業務に関する目標・自己啓発に関する目標・現地生活に関する目標)、渡航準備、また日本の指導教員との定期連絡、緊急連絡手法の確認などを行い、万全の準備をする。 実習の目的は①人間的に成長する、②海外で働く経験をする、③英語力の強化、である。					準備、心構え、目標認識
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		1、2、3、4、6			
A 知識・理解力	オーストラリアやインターンの知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
C 論理的思考力	オーストラリアでのインターンに必要な情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
E 自己管理能力	自らを律して行動できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 30 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 60 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストなどは行わない。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 時間内ですべて解決してゆく。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①海外インターン実習の意義、内容、今後のスケジュール(藤本)			配布資料に基づき予復習	60分	
②インターン実習の経費、収支についての説明(藤本)			配布資料に基づき予復習	60分	
③渡航手続(1)ワーキングホリディビザ・奨学金の説明、手続き(齋藤)			配布資料に基づき予復習	60分	
④渡航手続(2)航空券、ホームステイ手配、旅行傷害保険、学研災の説明、手続き(米田)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑤インターン実習の仕事の内容の説明、現地のくらし、宿所の説明(現地企業による)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑥渡航手続(3)誓約書作成			配布資料に基づき予復習	60分	
⑦オーストラリアの観光の実態(1)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑧オーストラリアの観光の実態(2)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑨日本人の訪豪の実態(1)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑩日本人の訪豪の実態(2)(オーストラリア政府観光局による)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑪現地企業とのマッチング			配布資料に基づき予復習	60分	
⑫現地企業とのマッチング			配布資料に基づき予復習	60分	
⑬実習中の目標設定(1)、連絡体制の確認			配布資料に基づき予復習	60分	
⑭実習中の目標設定(2)			配布資料に基づき予復習	60分	
⑮実習中の目標設定(3)			配布資料に基づき予復習	60分	
使用テキスト: なし			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): オーストラリア・インターン実習を成功させるかどうかは、この事前準備にかかっているといってもいいでしょう。少しでも疑問があれば教員に相談するなり、自分で調べるなり、しすべてを解決して実習に臨んでください。					